

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	札幌市バス路線情報データベース更新業務
発注課	まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課
選定事業者	日本データーサービス株式会社
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。） 本市では、バス路線の現状把握等を行うため、「札幌市バス路線情報データベース（以下「本システム」という。）」を令和元年度まで利用していたが、運用保守コストの観点から、近年は無料ソフトである「QGIS」を代替利用してきた。 しかしながら、昨今のバス運転手不足を原因としたバス路線の減便や廃止が相次いで発生しており、交通空白地域の確認や、代替となる交通手段の導入検討等の対応が加速度的に増加しているほか、バス路線の再編など将来的な生活交通確保の方向性を早急に検討し、持続可能な公共交通ネットワークを構築することが急務となっている。 交通空白地域の確認や代替交通導入の検討にあたっては、廃止路線・近隣路線の全てのバス停留所の距離関係を一元的に把握する必要があるほか、持続可能な公共交通ネットワークの構築の検討にあたっては、バス路線周辺の人口や主要施設などの情報を考慮したうえでの分析が必要であり、これらの情報との連携が容易な本システムを利用することが必須となる。 本業務は、本システムにおけるバスデータ（路線及び停留所）や主要施設データなどを最新のデータに更新するとともに、持続可能な公共交通ネットワークの検討に必要な機能の組み込みなどの改修を行うものであることから、業務の適切かつ確実な履行にあたっては、本システムの全体構成や設計仕様に対する高度な知識が必要不可欠である。 当該事業者は、本システムの開発業者であるとともに、令和元年度までに複数回実施してきた本システムのデータ更新業務を一貫して受託し確実かつ円滑に遂行してきた実績があり、本システムの全体構成や設計仕様を十分に熟知していることから、本業務を履行できる業者は、当該事業者の他にない。 以上のことから、本契約の相手方を当該業者に特定する。	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号
決定日	令和7年9月8日